

モードおよび出力設定の目安 (小児外科)

適応箇所/使用場面	商品名	形状No	形状	用途	初期設定目安		出力幅目安	
					CUT	BLEND	CUT	BLEND
皮膚切開、浅層部切開	エンパイアニードル電極	EE301 EE305		切開	CUT	BLEND	CUT	BLEND
					11	15	8~15	13~20
皮膚切開、浅層部切開	針電極	TA3		止血	COAG		COAG	
					15		8~20	
ピンポイント凝固	ハイポ-ラフォーセップ	J1		止血	BIPOlar		BIPOlar	
					2	1~5		
ピンポイント凝固	ハイポ-ラフォーセップ	ACBF-012		止血	BIPOlar		BIPOlar	
					4	1~10		
組織切除: 平坦切除	滅菌済 ダイヤモンド型ループ電極	C3D		組織 切除	CUT	BLEND	CUT	BLEND
					15	15	10~20	10~20
組織切除: ループ切除	滅菌済 ラウンド型ループ電極	B1D		組織 切除	CUT	BLEND	CUT	BLEND
					15	15	10~20	10~20
組織切除: ループ切除	滅菌済 ラウンド型ループ電極	B2D		組織 切除	CUT	BLEND	CUT	BLEND
					18	18	10~20	10~20
切開・凝固 (通常電気メスとしての 使用)	滅菌済 プレート型電極	E4D		切開	CUT	BLEND	CUT	BLEND
				20	30	15~30	20~40	
				止血	COAG		COAG	
					15	10~30		
凝固	滅菌済 ホール型電極	D8D		止血	COAG		COAG	
					15		8~15	

□小児外科領域にてよく使用されている内容となり、実際に納入されているものとは異なる場合がございます。

【切開のコツ】

通電のタイミングは必ず、**組織に接触させる前**に開始してください。

(接触した状態で通電すると、RFエネルギーが分散されて切開力が低下します)

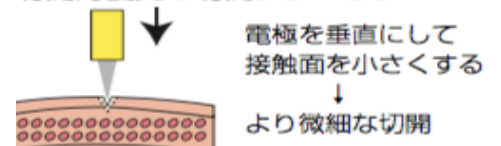
先端が**触れるか触れないかぐらいの軽いテンション**で浅く切開してください。

(押し付けると深く切開してしまい、出血が多くなります)

適度なスピードで切開するようにしてください。

(操作スピードが早いと切開はしますが、出血が多くなります)

切開力優先の切開テクニック



【止血のコツ】

通電のタイミングは必ず、**組織に軽く接触させた後**に開始してください。

(接触前の通電は、RFエネルギーが集中して組織が切開されてしまいます)

止血の際は血液を除去し、**出血点に軽く接触させてから**行なってください。

(血液が溜まると血液によりRFが分散されるので効果が落ちます)

また、軽く接触せずに押し付けるとRFの集中度がなくなり止血効果が落ちます)

鑷子を用いた間接止血の際は把持した部位を**軽く挙上**してください。

(挙上することにより、RFが集中しやすく止血作用が早くなります)

凝固力優先の切開テクニック

